

# かわり方(1)

名前 \_\_\_\_\_

☆長さ16 cmのロープで四角形を作る時、  
たての辺と横の辺の長さの関係を調べましょう。

(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

横の辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	7
たての辺の長さ(cm)	7	6	5	4	3	2	1

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。  
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① 横の辺の長さが1cmずつふえていくと、たてのへんの長さは  
□ア□センチずつ□シ□いきます。

② 横の辺の長さとなての辺の長さをたした数は□ク□になります。

式で表すと

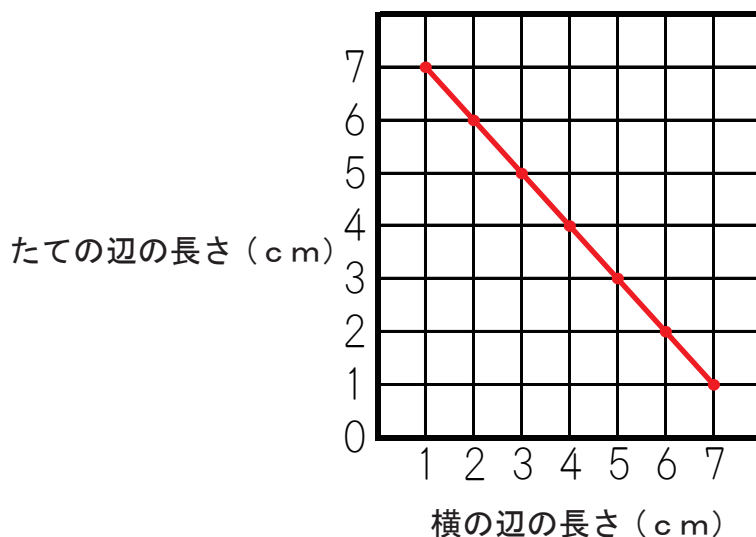
□コ□の辺の長さ + たての辺の長さ = □ク□ となります。

③ 横の辺の長さが 5 cmのときのたての辺の長さは

□ク□ - □オ□ = □ウ□ (cm) となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、6	キ、7	ク、8		
ケ、たて	コ、横	サ、ふえて	シ、へって	

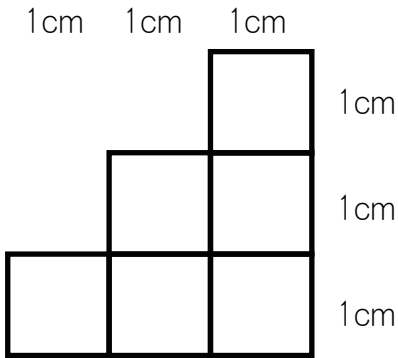
(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



# かわり方 (2)

名前 \_\_\_\_\_

☆ 1辺の長さが1cmの正方形を組み合わせて、下の階段のような形の図をつくります。だん数と周りの長さの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところに

あてはまる数を書きましょう。

かいだんのだん数	3	4	5	6	7	8	9
周りの長さ(cm)	12	16	20	24	28	32	36

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。  
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① かいだんのだん数が1だんずつふえていくと、周りの長さは

□エ□センチずつ□サ□いきます。

② かいだんのだん数に□エ□をかけた数が周りの長さになります。

式で表すと

かいだんのだん数 × □エ□ = 周りの長さ となります。

③ 周りの長さが 48 cmのときのかいだんのだん数は

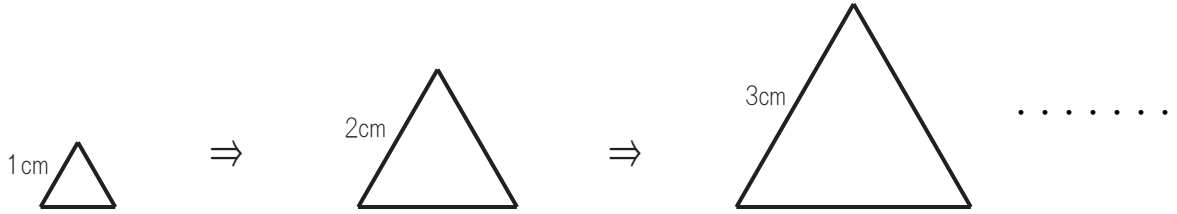
□ク□ ÷ □エ□ = □コ□だん となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、44	キ、46	ク、48	ケ、10	コ、12
サ、ふえて		シ、へって		

# かわり方 (3)

名前 \_\_\_\_\_

☆1辺の長さが1cmの正三角形があります。下のようにならぬに1辺の長さを1cmずつふやしたときの周りの長さとの関係を調べましよう。



(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましよう。

1辺の長さ(cm)	1	2	3	4	5	6	7	.....
周りの長さ(cm)	3	6	9	12	15	18	21	.....

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましよう。ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① 1辺の長さが1cmずつふえていくと、周りの長さは

ウ センチずつ サ いきます。

② 周りの長さは1辺の長さに ウ をかけた数の長さになります。

式で表すと

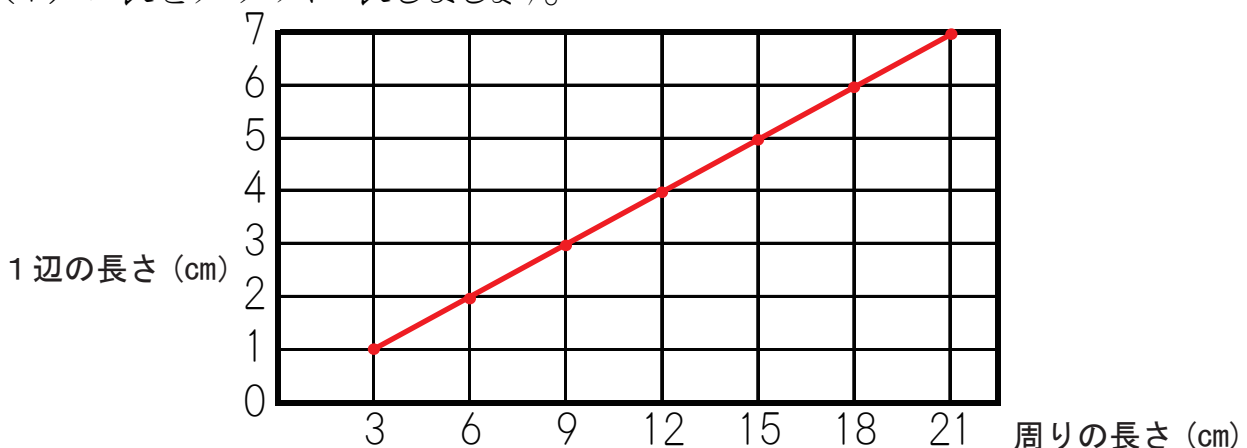
1辺の長さ × ウ = 周りの長さ となります。

③ 周りの長さが 33 cmのときの正三角形の1辺の長さは

コ ÷ ウ = キ (cm) となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、10	キ、11	ク、12	ケ、30	コ、31
ケ、32	コ、33	サ、ふえて	シ、へって	

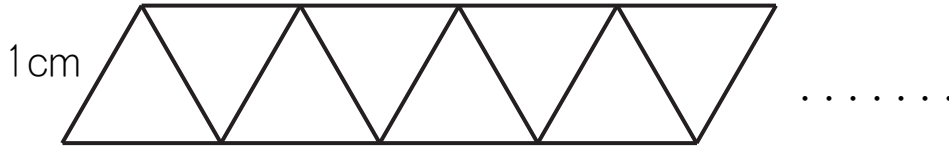
(3) (1)の表をグラフに表しましよう。



# かわり方 (4)

名前 \_\_\_\_\_

☆1辺が1cmの正三角形を下のようにならべます。  
このとき正三角形の数と周りの長さの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

正三角形の数	1	2	3	4	5	6	7	.....
周りの長さ(cm)	3	4	5	6	7	8	9	.....

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。  
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① 正三角形の数が1こずつふえていくと、周りの長さは  
□ア□センチずつ□サ□いきます。

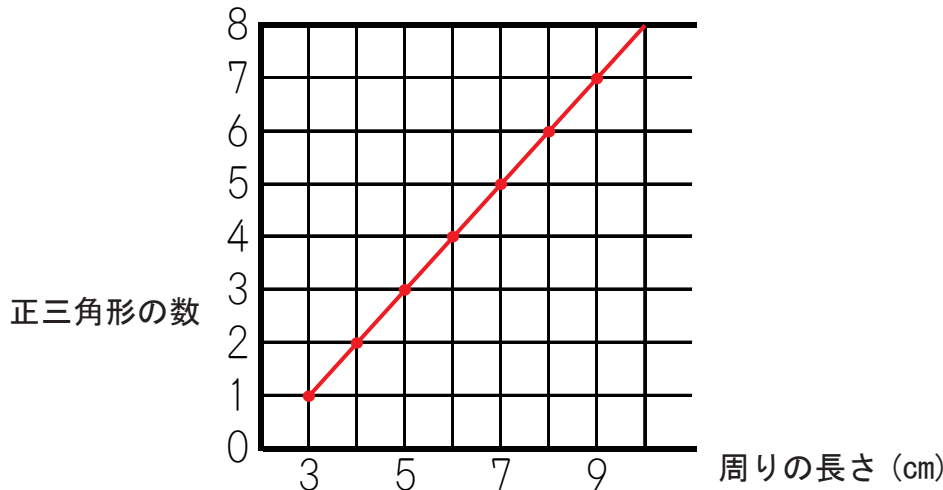
② 周りの長さは正三角形の数に□イ□をたした数の長さになります。  
式で表すと

$$\text{正三角形の数} + \square \text{イ} = \text{周りの長さ} \text{ となります。}$$

③ 周りの長さが 14 cmのときの正三角形の数は  
□ク□ - □イ□ = □カ□ となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、12	キ、13	ク、14	ケ、15	コ、16
サ、ふえて	シ、へって			

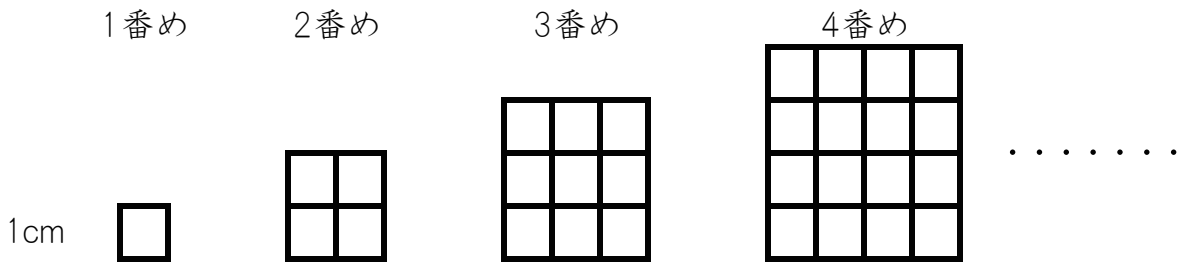
(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



# かわり方 (5)

名前 \_\_\_\_\_

☆ 1辺の長さが1cmの正方形を下のようにならべていきます。  
このとき正方形の数と周りの長さの関係を調べましょう。



(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

ならべ方(番め)	1	2	3	4	5	6	7	.....
周りの長さ(cm)	4	8	12	16	20	24	28	.....

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。  
ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

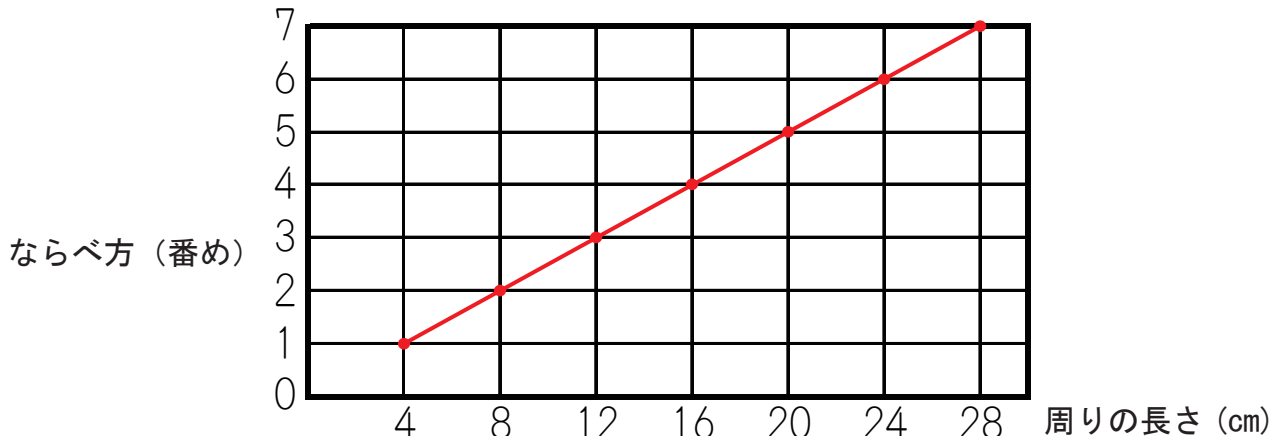
① ならべ方の数がひとつずつふえていくと、周りの長さは  
□**エ**センチずつ□**サ**いきます。

② ならべ方の数は周りの長さを □**エ** でわった数になっています。  
式で表すと  
周りの長さ ÷ □**エ** = ならべ方の数 となります。

③ ならべ方の数が 9 番めのときの周りの長さは  
□**キ** × □**エ** = □**ケ** (cm) となります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、4	オ、5
カ、8	キ、9	ク、34	ケ、36	コ、38
サ、ふえて	シ、へって			

(3) (1)の表をグラフに表しましょう。



# かわり方(6)

名前 \_\_\_\_\_

☆ あゆさんは120ページの本を1日に15ページずつ、ひろきさんは100ページの本を1日に10ページずつ読みます。

(1) 下の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

あゆさんの本の読んだページ数と、<sup>のこ</sup>残りのページ数<sup>か</sup>の変わり方

読んだ日数(日)	0	1	2	3	4	5	6	7	8
読んだページ数(ページ)	0	15	30	45	60	75	90	105	120
残りのページ数(ページ)	120	105	90	75	60	45	30	15	0

ひろきさんの本の読んだページ数と、残りのページ数の変わり方

読んだ日数(日)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
読んだページ数(ページ)	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100
残りのページ数(ページ)	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	0

(2) □にあてはまる数やことばを下のア～ウより選んで記号で書きましょう。ただし、同じ記号を何度使っても良いものとします。

① あゆさんの本の読んだページ数は、読んだ日数と **カ** をかけた数になっています。式で表すと

読んだ日数 × **カ** = 読んだページ数 となります。

② あゆさんの本の残りのページ数は、**オ** から読んだページ数をひいた数になっています。式で表すと

**オ** - 読んだページ数 = 残りのページ数 となります。

③ 3日目のあゆさんの本の残りのページ数は、**ケ** ページ、ひろきさんの本の残りのページ数は、**コ** ページで、**サ** の方が **ク** ページ多いです。

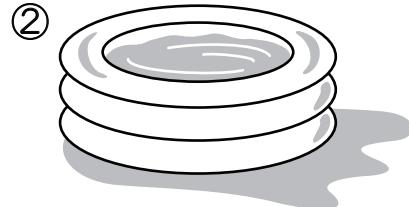
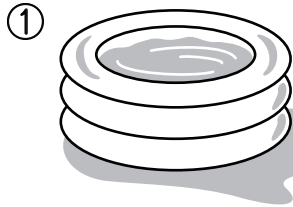
④ 二人が同じ日に読み始めた場合、**サ** の方が、**イ** 日早く、本を読み終わります。

ア、1	イ、2	ウ、3	エ、100	オ、120
カ、15	キ、10	ク、5	ケ、75	コ、70
サ、あゆさん	シ、ひろきさん			

# かわり方 (7)

名前 \_\_\_\_\_

☆ ①と②のビニールプールがあります。それぞれの底にあるせんを開けて水をぬくと、下の表のようにプールの中の水の量がかわっていきます。



①のプールの水の量の変わり方

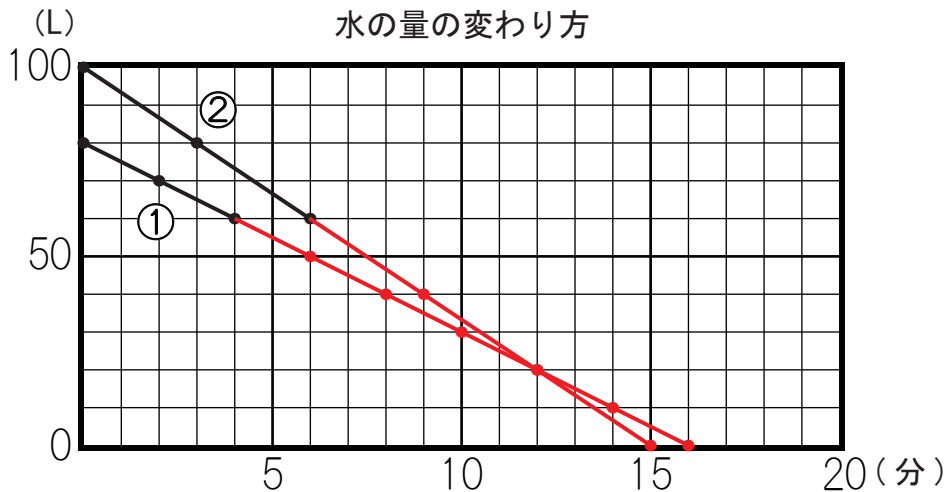
時間 (分)	0	2	4	6	8	.....
水の量 (L)	80	70	60	50	40	.....

②のプールの水の量の変わり方

時間 (分)	0	3	6	9	12	.....
水の量 (L)	100	80	60	40	20	.....

(1) 上の表のあいているところにあてはまる数を書きましょう。

(2) ①と②のプールの水の量の変わり方をグラフに表しましょう。



(3) ①と②のどちらのプールの水が、先になくなるでしょうか。

答 ②